

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公開番号】特開 2002-131137 (P2002-131137A)

【公開日】平成 14 年 5 月 9 日 (2002.5.9)

【出願番号】特願 2000-322627 (P2000-322627)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 J 5/48

G 0 1 J 1/42

G 0 1 J 1/44

G 0 1 J 5/22

H 0 1 L 27/14

H 0 4 N 5/33

【F I】

G 0 1 J 5/48 E

G 0 1 J 1/42 B

G 0 1 J 1/44 E

G 0 1 J 5/22

H 0 4 N 5/33

H 0 1 L 27/14 K

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 17 日 (2005.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

【発明の実施の形態】

実施の形態 1 .

図 1 はこの発明の実施の形態 1 を示すブロック図である。図において 4 3 はあらかじめ実測または算出により求めておいた撮像素子 2 の出力レベルが一定になるような素子温度モニタ 3 の出力とトランジスタ 3 2 への出力電圧の関係を示す第 1 の制御データ、4 2 は素子温度センサ 3 の出力を制御データ 4 3 に出力し、その値に応じたデータ値を第 1 の制御データ 4 3 を記憶した R O M から得、得たデータ値に応じた出力を撮像素子 2 に出力する第 2 の素子出力レベル設定手段である。

第 1 の制御データ 4 3 は撮像装置の試験・調整の時点で R O M に記録して格納されたものである、

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

第 2 の素子出力レベル設定手段 4 2 が素子温度モニタ 3 の出力を受けると、それに応じたデータ値を R O M から読み出し（第 1 の制御データ 4 3 から得て）、その読み出されたデータ値に応じた出力を、第 2 の素子出力レベル設定手段 4 2 から撮像素子 2 に出力する。これにより、撮像素子 2 の温度が変化してもその出力レベルは変化しない。一方被写体

からの放射赤外線強度に応じる微少な温度上昇は、撮像素子 2 の温度に対して発生するものであるため、従来の装置と同様に撮影が可能である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

図 5 は撮像素子 2 の出力レベルが一定となるような素子温度モニタ 3 の出力とトランジスタ 30、31 との関係の一例を示す図である。